

5月15日（月）
総務文教常任委員会

調査件名

- 広野駅周辺開発について
- 給食センターの改修について

総務文教
広野駅周辺開発

● 駅東側住宅団地販売
住宅団地の工事は予定通り完了するが、販売開始時期は今後の維持管理など、想定より課題が出ており、若干遅れているとのことでした。

委員から、住宅団地の問題をすぐ相談できるように、住む人が安心して維持管理体制を事業者と確認して整備するよう、要望しました。

● 駅舎改修
駅舎改修は、防災情報を受け取れるデジタルサイネージの設置や備蓄品など、一時避難所としての機能を付した交流施設として整備することとした。

財源は国の福島再生加速化交付金を活用し、10割の補助を見込んでいますが、今後の実施設計によっては、補助の対象から外れるものが出てくる可能性があるとのことでした。

委員から、駅舎改修後に予定されている駅西側ロータリー整備を前倒しで同時期にできないかとの質疑が出ましたが、駅舎が完全に完成し、底地の線引きが終わった後でなければ、次の工事に移れないとのことでした。



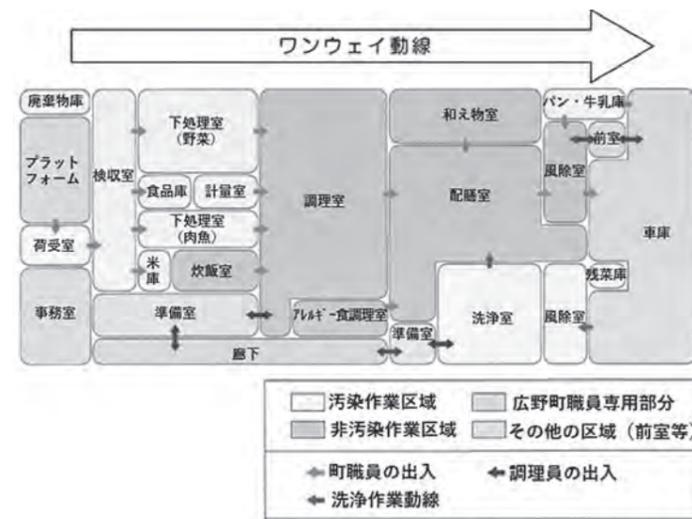
完成した駅東側住宅団地造成地

総務文教
給食センターの改修

● 給食センター改修
の計画内容とスケジュール
基本設計において、食材動線が清潔度の低い区域から高い区域へ流れる、逆戻りのないワンウェイ動線とするとのことでした。

完成時期は令和7年7月を目標にしており、夏休み期間を利用して練習し、令和7年2学期から、供給する計画とのことでした。

食品の線量調査は今でも続いているのかとの質疑については、今も実施しており、新しい施設においても実施する計画としていたとのことでした。



ワンウェイ動線概要図

報告

を報告します

委員会

各常任委員会の活動状況

産業厚生
農林業の振興

● 玉ねぎ栽培
集団産地の一地区として認定された玉ねぎ栽培は、将来的に3haを生産する計画となっているが、現在、生産農家が極少数であることから、10aあたり1万5千円を交付する振興作物収穫補助金をはじめ、生産していただけるような取り組みを展開していくとのことでした。

● ぶどう栽培
委員から、町内のぶどうの出荷がピークを迎えることから、振興作物に指定して、支援してはどうかとの意見が出ましたが、ぶどうは高値で取引されているため、収穫、販売に対する支援は難しいとのことでした。

産業厚生
町の道路行政

● 町道北釜・大谷地原線
道路改良舗装工事は、起点から139m区間を実施することとした。

委員から、東町産業団地に繋がるところまで早くできないかとの質疑が出ましたが、補助事業の関係やそれ以外に整備が必要な道路があることから、検討することとした。

● 町道高倉・亀ヶ崎線
委員から、県道いわき・浪江線と交差するT字路への信号機を付ける話の進捗状況について質疑が出ましたが、双葉警察署に現地を確認してもらったが、今の状態では信号機を設置する要件に該当しないとの回答であったとのことでした。

5月16日（火）
産業厚生常任委員会

調査件名

- 農林業の振興について
- 町の道路行政について

● 戦略作物
戦略作物の作付面積は、麦6.3ha、そば、4.2ha、大豆2haで、年々作付面積が増えているものもあるとのことでした。

● 新規就農者支援
昨年度まで研修を行っていた新規就農者については、今年度から独立し、水稲約2.6haを営農することになっており、国支援制度の活用を促すほか、町としても経営が軌道に乗るまで支援を行っていくとのことでした。

● 野菜づくり勉強会
新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた野菜づくり勉強会は、今年度は開催したいとのことでした。

● 森林再生事業
令和7年度までの計画に入っていない地区については、令和8年度以降、事業継続となった場合に、全体計画の優先順位に従って進めるとのことでした。



交通が多いいわき・浪江線と高倉・亀ヶ崎線のT字路